

令和5年度
(2023年度)

教育実施計画書
(カリキュラム・ポリシー)

中央工学校

造園デザイン科

目 次

I. 教 育 目 的	1
II. 指 導 目 標	1
III. 指 導 要 領	1
IV. 成 績 評 估 方 法 · 基 準	1
V. 教 科 構 成 表	2
VI. 教 科 別 教 育 實 施 計 畫 書	3
VII. 教 科 別 教 科 書 一 覽	39
VIII. 教 具 教 材 一 覽	40

I. 教育目的

造園業界に従事する者として、造園技術の急速な進歩、専門先端化、多様化に対応し、これに適応する実務能力と技能を兼備した造園技術者の育成を目的とする。

II. 指導目標

1. 造園事業に従事するために必要な計画・設計・施工・維持・管理等の業務に関する知識と技術を学習し、実務に適応できる造園技術者となる。
2. コンセプトや図面表現など豊かなプレゼンテーション技法を学習し、自分の考えを相手に伝えることができるようになる。
3. 造園業界の資格である「造園技能士」の学科試験に必要な知識を学習するとともに、実技試験に必要な技術を習得し、1年次に3級、2年次に2級、また2級造園施工管理技術検定(学科試験)において共に100%の合格を目指す。

推奨資格	目標合格率・取得率
3級造園技能士	100%
2級造園技能士	100%
2級造園施工管理技術検定 学科試験	100%

III. 指導要領

造園デザイン科は、以下のような方針の基に教育指導に当たる。

1. 造園に関する基本的事項を確実に習得させるとともに、責任・安全・能率などの実践的態度を養わせ、実作業に必要な技術を体得させる。
2. 設計製図の技能とCAD技術の基礎知識を身に付け、各自作成した図面のプレゼンテーションを行うことにより、相手に伝える技術を習得させる。
3. 実技訓練を通して「造園技能士」合格に必要な技能を体得させるとともに、造園工事に必要な、土木工学、園芸学、電気工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識を理解させるとともに、実務に必要な2級造園施工管理技士の資格試験が合格できるよう指導する。

IV. 成績評価方法・基準

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科で定める一般科目や専門科目は定期試験（レポート課題含む）により成績評価を行っている。実習科目では出席率や課題内容を総合的に評価している。また、卒業設計や進級課題では、校長の承認を得て総合的に評価を行っている。

100点満点における60点以上を合格とし、履修が認定される。各科目で出席率85%未満の生徒についてはその成績評価の対象としない。

V. 教科構成表

令和5年度 造園デザイン科 教科構成表

必修選択の別	教科区分	教科目	第1学年		第2学年		備考	授業時数 合計	実務家教員 担当教科	
			前期	後期	前期	後期				
必修	一般科目	数 学	3					45		
		情報リテラシー	3					45		
		合宿研修	(36)		(36)		※1	(72)		
	建設基礎専門科目	土木工学・構造力学		3				45	○	
		測量学概論						0		
		建築学概論			3			45	○	
		法規			3			45	○	
		土木総合				3	※4	45		
	修	造園専門科目	試験対策特講	3	3	3			135	○2年のみ
			造園概論	3					45	○
ランドスケープデザイン			3					45	○	
施工材料			3					45	○	
造園施工					3			45		
施工計画					3			45	○	
都市環境論						3		45	○	
自然環境論					3			45	○	
植物学概論				3				45		
造園積算						3		45	○	
科	造園実習科目	造園技能実習	6	3	3			180	○2年のみ	
		測量実習		3				45		
		植栽管理実習		3	3			90	○	
		造園実習		3		3		90	○	
		造園パース演習	3		3			90	○1年のみ	
		造園製図演習	3					45	○	
		植栽設計演習		3				45		
		造園CAD演習		3				45		
		造園設計演習		3	3			90	○	
		環境デザイン演習				3		45	○	
	卒業制作				9		135	○		
特別実習	実務研修			〈40〉		※2	〈40〉			
	造園施工実習Ⅰ	〈81〉				※3	〈81〉	○		
	造園施工実習Ⅱ			〈81〉		※3	〈81〉	○		
週 授 業 時 数			30	30	30	24		114時数		
週 数			15	15	15	15		60週		
年 間 (39 週) 授 業 時 数			900		810		1,710	1,984		

※1 3日間×12時間/日=36時間 実時間数とする(合宿研修)

※2 5日間×8時間/日=40時間 実時間数とする(実務研修)

※3 9日間×9時間/日=81時間 実時間数とする(造園施工実習Ⅰ・Ⅱ)

※4 土木総合は「コンクリート工学」・「地盤工学」・「水理学」を実施する

VI. 教科別教育実施計画書

一般科目	講義	数学	1 学年	前期
目的・目標（指標）		業界に必要な諸計算の基礎的な計算力を養い、一般的な数学ではなく現場で道具として使う計算力を身に付ける。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業の進め方、素養試験解説		
2	数学の基本	数値計算、電卓の基本操作		
3	数と計算(1)	四則計算		
4	数と計算(2)	分数の計算、正数と負数の計算		
5	近似値	有効数字		
6	式	単項式、多項式		
7	方程式(1)	一元一次方程式		
8	方程式(2)	連立一次方程式、行列式		
9	図形(1)	線と角		
10	図形(2)	三角形と四角形と円、図形の相似		
11	多角形の面積(1)	長方形、三角形の面積		
12	多角形の面積(2)	多角形、扇形、台形の面積		
13	面積と体積	土地の面積と土量計算		
14	座標、比重	物質の密度と比重		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

一般科目	講義	情報リテラシー	1 学年	前期
目的・目標（指標）		コンピュータのシステム機器に順応できるよう基礎を理解させ、Word、Excel 等、幅広くできるようになる。基礎や利用方法を理解し、今後の進級制作及び卒業制作等の図面及び計算書作成に、コンピュータを十分に活用できるようになる。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業説明、パソコンの立ち上げ		
2	インストール作業	ウイルスセキュリティソフトの設定、プリンターのインストール		
3	Word の基礎(1)	文字の入力、特殊な入力方法、練習問題		
4	Word の基礎(2)	文書の作成、練習問題		
5	Word の基礎(3)	編集機能、練習問題		
6	レポートの書き方	レポートの書き方について		
7	Excel の基礎(1)	Excel の構成		
8	Excel の基礎(2)	ワークシートの編集		
9	Excel の基礎(3)	ワークシートの書式設定		
10	Excel の基礎(4)	グラフの作成		
11	Excel の基礎(5)	関数の活用		
12	PowerPoint の基礎(1)	PowerPoint の使い方		
13	練習問題(1)	Word、Excel 練習問題(1)		
14	練習問題(2)	Word、Excel 練習問題(2)		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

一般科目	講義	土木工学・構造力学	1 学年	後期
目的・目標 (指標)	土木と社会生活の関係。造園を志す学生には基本的な構造力学に親んでもらい、社会基盤や生活環境を支えるために必要な土木の基礎知識を理解する。			
実務家教員の実務経験	海外赴任の経験もあり、土木工学や構造に関する知識が豊富。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	土木について、土質調査とは	生活・社会・交通と土木、歴史と役割、現場試験と室内試験		
2	土木建造物の基本的形状	各種土木建造物への使われ方、建造物を構成している要素と部材		
3	土工、法面工、建造物に作用する力、軟弱地盤	土量の変化率、力の3要素と作用、反作用の法則、軟弱地盤対策		
4	力の釣り合い	力の釣り合い3条件、てこの原理、静定構造と不静定構造の違い		
5	基礎工、ケーソン基礎、支点の種類と反力	直接基礎と杭基礎、ケーソン、支点の種類と反力の数、梁の種類		
6	土留め工、静定梁の反力	土留め工法、単純梁、片持ち梁の反力		
7	コンクリート材料、梁の内力	コンクリートの材料、配合、引張、圧縮、せん断応力、曲げ応力		
8	施工準備、断面2次モーメント	事業可能性調査、契約方式、断面2次モーメントを求める		
9	主な土木工事、断面係数の役割	河川、道路、ダム、断面係数の算出、橋梁の種類と架設		
10	単純梁を解く、施工計画、仮設備計画	集中荷重、等分布荷重、等変分布荷重の反力、内力、作成手順		
11	応力と材料の強さ	応力とひずみ、各種材料の力学的性質、許容応力度と安全率		
12	原価管理、工程管理、梁に生じる応力(曲げ)	PDCAを回す、工程管理手法、単純梁・片持ち梁の曲げ応力		
13	安全管理、品質管理、梁に生じる応力(せん断)	労働安全衛生規則法、単純梁・片持ち梁のせん断応力		
14	環境管理、梁の設計、応力とひずみ	マニフェストとは、梁の設計演習、軸方向応力と歪		
15	定期試験	定期試験		

建設基礎 専門科目	講義	建築学概論	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		建物とはどのようにして建てられるのか？自然環境との関わりや建物に係る法令や構造の種類、主の建築材料の特性、建築設備の概要や図面の見方を通して、初歩的な建築知識を習得する。「建築とは何か？」が最後には理解できるようにすること。「建築界に身を置く技術者として最低限の知識、社会人としての常識」を持って本業に向かい合える人となること。その為に、社会生活の話を混ぜながら進めていく。		
実務家教員の実務経験		一級建築士の資格を含め、建築に関わる様々な資格を有する。個人事務所設立後、幅広い建築設計を請け負っている。		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	建築学	計画系、構造系、関連分野、気候風土と建築		
2	建築のあらまし	構造の種類と特徴、構造の選択、用語解説、質量や重さ		
3	建物の一般構造(1)	建物の成り立ち(全般、木造)、地盤と基礎地業、基礎・構造躯体		
4	建物の一般構造(2)	立質量や重さ、長さのモジュール、ラーメンと壁式、RC造の特徴		
5	建物の一般構造(3)	S造とは、継ぎ手、特性、防火性		
6	設計図書の見方(基本図面)	専用住宅図面、マンション図面、保育園図面		
7	建築法規(1)	建築に関する法令の解説、建築確認申請・完了検査とは		
8	建築法規(2)	確認申請を要する工作物、都市計画、用途地域		
9	建築法規(3)	規制の内容、用語解説、面積、建ぺい率・容積率算定		
10	建築設備(1)	機械設備とは、設備図、給水設備、排水設備、ガス・空調設備		
11	建築設備(2)	電気設備とは、設備図、電気の源流、電気図の記号、照明の特徴		
12	建築の工法・各工事解説(1)	屋根、板金、金属、外装、サッシ、ガラス、石、タイル、左官		
13	建築の工法・各工事解説(2)	内部造作・内装、書院風&草庵風、畳風		
14	DVD鑑賞	スカイツリーのすべて		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

建設基礎 専門科目	講義	法規	2 学年	前期
目的・目標（指標）	造園の基礎的な法規の内容を理解させ、就職後の実践的生活に役立たせ、在学中に2級造園施工管理(学科)の試験に合格させる。			
実務家教員の実務経験	海外赴任の経験もあり、土木工学や構造に関する知識が豊富。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	造園施工管理試験対策(1)	施工計画、工程管理		
2	造園施工管理試験対策(2)	品質管理		
3	造園施工管理試験対策(3)	原価管理		
4	造園施工管理試験対策(4)	労働関連法規		
5	造園施工管理試験対策(5)	建設業法		
6	造園施工管理試験対策(6)	歴史		
7	造園施工管理試験対策(7)	植栽、材料		
8	造園施工管理試験対策(8)	施工、土木		
9	労働基準法	労働基準法について		
10	労働安全衛生法	労働安全衛生法について		
11	労災保険法	労災保険法について		
12	雇用保険法	雇用保険法について		
13	社会保険	社会保険について		
14	建設副産物	建設副産物について		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

建設基礎 専門科目	講義	土木総合	2 学年	後期
目的・目標 (指標)		土木の重要な基礎科目である「コンクリート工学」、「地盤工学」、「水理学」について広く学修することで、造園技術者として必要な土木に関する知識と技術を習得する。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	コンクリート容積配合(1)	容積配合の考え方、容積と質量の換算、骨材の種類と補正		
2	コンクリート容積配合(2)	練混ぜ手順、仕上げの手順		
3	モルタルの配合(1)	モルタル配合の考え方、容積と質量の考え方		
4	モルタルの配合(2)	下塗り・中塗り・上塗りの配合		
5	モルタルの配合(3)	目的に応じた練り混ぜ方法、モルタルの補修と接着力		
6	鉄筋コンクリート設計	RC梁の考え方、鉄筋種類、許容応用緑土設計法、擁壁の鉄筋配置		
7	土の生成	土質力学と地盤工学、土の生成、土層の生成・地質年代		
8	土層と日本の地盤、土の構造、土質調査	土層、日本の地盤、特殊な土、土の構造、標準貫入試験とN値		
9	ボーリング・サウンディング	原位置試験と土質試験		
10	土の基本的性質	土粒子密度 ρ_s 含水比 w 、土の密度 $\rho_t \rho_d$ 、間隙比 e /飽和度 S_r		
11	土のコンシステンシー	粒度による土の分類、三角座標の土のコンシステンシーとは		
12	土の締固め	土の分類意義と工学的分類、土の締固めと締固め土の特性		
13	土の透水	土の透水性とダルシー則、透水試験法と透水係数 k		
14	河川流域と地形学	河川と水系、河川の作用と地形、河川断面と名称		
15	定期試験	定期試験		

造園専門 科目	講義	試験対策特講	1 学年	前・後期
目的・目標 (指標)		1 学年は約 4 ヶ月で検定試験となるため、造園施工必携をもとに説明し造園全体を理解させることで、前期は 3 級造園技能検定、後期は 2 級造園技能検定の学科試験に合格できる。		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業内容について、技能検定試験について		
2	造園の様式と変遷(1)	日本庭園の歴史について		
3	造園の様式と変遷(2)	日本庭園の様式、海外の庭園様式について		
4	わが国の公園(1)	都市公園		
5	わが国の公園(2)	自然公園		
6	造園材料(1)	植物材料、石材		
7	造園材料(2)	木材、竹材、繊維材料		
8	造園材料(3)	セメントとコンクリート、レンガとタイル、その他材料		
9	造園施工工具類	造園工具の説明		
10	基盤工と植栽工(1)	位置出し、植栽基盤		
11	基盤工と植栽工(2)	植栽工、花壇の施工、屋上緑化、壁面緑化		
12	関係法規、安全衛生	関係法規、労働安全衛生法、造園に伴う安全衛生		
13	3 級過去問題(1)	問題解説(1)		
14	3 級過去問題(2)	問題解説(2)		
15	定期試験	定期試験		
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	造園技能検定対策(1)	令和 4 年度過去問題練習、解説		
2	造園技能検定対策(2)	令和 3 年度過去問題練習、解説		
3	造園技能検定対策(3)	令和 2 年度過去問題練習、解説		
4	造園技能検定対策(4)	平成 31 年度過去問題練習、解説		
5	造園技能検定対策(5)	平成 30 年度過去問題練習、解説		
6	造園技能検定対策(6)	平成 29 年度過去問題練習、解説		
7	造園技能検定対策(7)	造園技能検定過去問題まとめ		
8	造園の基本(1)	庭園の歴史		
9	造園の基本(2)	江戸時代の庭園様式について、潮入の庭について		
10	造園の基本(3)	都市公園について、都市公園施設について		
11	造園の基本(4)	樹木(常緑樹と落葉樹)について、樹木(針葉樹)について		
12	造園の基本(5)	低木、草花について		
13	造園の基本(6)	肥料について		
14	造園の基本(7)	樹木の分類について		
15	定期試験	定期試験		

造園専門 科目	講義	試験対策特講	2 学年	前期
目的・目標（指標）		造園技能士 2 級の学科・要素試験の 8 割以上の合格を目指す。学科過去問題 50 点満点中、40 点以上をクラス全員が前期中に取れるようにする。要素は出題される樹種の全てを覚える。		
実務家教員の実務経験		数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	学科試験対策(1)	令和 4 年度過去問題練習、解説		
2	学科試験対策(2)	令和 3 年度過去問題練習、解説		
3	学科試験対策(3)	令和 2 年度過去問題練習、解説		
4	要素試験対策(1)	小テスト、解説		
5	学科試験対策(4)	平成 31 年度過去問題練習、解説		
6	学科試験対策(5)	平成 30 年度過去問題練習、解説		
7	学科試験対策(6)	平成 29 年度過去問題練習、解説		
8	要素試験対策(2)	小テスト、解説		
9	要素試験対策(3)	小テスト、解説		
10	要素試験対策(4)	小テスト、解説		
11	要素試験対策(5)	小テスト、解説		
12	要素試験対策(5)	小テスト、解説		
13	模擬試験(1)	模擬学科試験、模擬要素試験		
14	模擬試験(2)	模擬学科試験、模擬要素試験		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	造園概論	1 学年	前期
目的・目標（指標）	これから 2 年間造園を学んでいくために、植物に興味を持って同じようなレベルで造園的見方、造園的な発想が出来るようになる。 造園を学んでいくためには、まずは植物に興味を持たなければならない。見慣れた場所にも様々な素材があると思うが、興味がなければ目にもとまらない。造園を学ぶ者として興味を持って細かい所まで目が届くようにする。			
実務家教員の実務経験	大手造園会社に長年勤め、現在は[造園家]として様々な面で活躍している。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	身近な緑にふれる(1)	学校周辺の緑(名主の滝～中央図書館～石神井川)		
2	身近な緑にふれる(2)	緑化フェアについて		
3	意識を知る、人が緑に求めるもの	サクラの話、人が緑に求めるものとは		
4	造園の仕事とは(1)	造園の仕事とは、日本と西洋の庭のつくり方		
5	造園の仕事の現状	社会人として必要なこと、造園の仕事の現状		
6	日本の自然、その姿とのつき合い方	日本の自然の姿について		
7	日本庭園史、これからの日本の造園	日本庭園史の概要、これからの日本の造園とは		
8	庭園図面を見る	庭園図面を見る		
9	施設見学	東京ディズニーランド見学		
10	見る・感じる・想像する	見る・感じる・想像する		
11	日本庭園のつくり方(1)	写景、縮景、借景、目隠し、植栽、樹芸、土の造景、飛石		
12	日本庭園のつくり方(2)	垣根、石組、石積、氣勢、水景工		
13	造園の仕事とは(2)	造園の仕事の流れ、公共造園と民間造園		
14	造園の仕事とは(3)	バリアフリーとユニバーサルデザイン		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	ランドスケープデザイン	1 学年	前期
目的・目標（指標）	公共空間構成の基本的な形態やパターンを理解し、今後の計画設計を行うための基礎的訓練を行うことを目的とする。 公共空間構成の成り立ちをスケッチ、実測とそれに基づく作図によって把握し、ランドスケープデザインにおいて必要なスケール感覚を養う。			
実務家教員の実務経験	個人事務所を設立している。講師としての経験も豊富。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業の進め方、公共空間について、公共空間の種類		
2	見学(1)代々木公園	園路構成、園路及び周辺の空間構成のスケッチ、空間構成の実測		
3	作図(1)代々木公園	構図設定、作図		
4	見学(2)上野恩賜公園	人工的な広場の構成、広場及び周辺の空間構成スケッチ、実測		
5	作図(2)上野恩賜公園	構図設定、作図		
6	見学(3)新宿御苑	自然的な広場の構成、広場及び周辺の空間構成のスケッチ、実測		
7	作図(3)新宿御苑	構図設定、作図		
8	見学(4)お台場海浜公園	工作物の構成、工作物の形態のスケッチ、工作物の実測		
9	作図(4)お台場海浜公園	構図設定、作図		
10	見学(5)水元公園	水辺構成、水辺及び周辺の空間構成のスケッチ、空間構成の実測		
11	作図(5)水元公園	構図設定、作図		
12	見学(6)葛西臨海公園	植栽の構成、植栽地の空間構成のスケッチ、空間構成の実測		
13	作図(6)葛西臨海公園	構図設定、作図		
14	各公園の解説	各公園の解説		
15	講評	各班の課題講評		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	施工材料	1 学年	前期
目的・目標 (指標)	造園を学ぶにあたり、使用する材料、道具に対する知識を持つこと。材料、道具の名称、特徴を理解させる。			
実務家教員の実務経験	数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス、植物材料(1)	公共緑化樹木		
2	植物材料(2)	樹木の分類、陽樹・陰樹、潮・大気汚染について		
3	植物材料(3)	数量表の書き方、機能に応じた樹種の選定、芝について		
4	エクステリア(1)	基本計画からゾーニング、門廻り、アプローチ		
5	エクステリア(2)	フェンス、駐車場の考え方・舗装		
6	石材(1)	石の種類、自然石について、使い方		
7	石材(2)	加工石の方法、種類、使い方		
8	セメントとコンクリート(1)	コンクリートとは、レディミクストコンクリート、セメントとは		
9	セメントとコンクリート(2)	施工方法		
10	コンクリート製品(1)	インターロッキングブロック、平板		
11	コンクリート製品(2)	コンクリート舗装、側溝・柵		
12	舗装	舗装の構造、仕様機械・材料、舗装の種類		
13	公園施設	公園施設について、遊具について		
14	運動施設	運動施設について		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	造園施工	2 学年	前期
目的・目標（指標）		様々な工種がある造園工事だが、その主なものを取り上げ、その工種の要点がどこにあるかが理解できるようになる。小規模な伝統的庭園作りの施工が中心となるが、大規模な公共事業にも対応できる土工事、舗装工事なども取り上げ、設計する上でも重要な素養であることを認識できる。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	造園業界	公共工事と民間工事		
2	造園工事、造園施工	内容と工種、造園施工に使う工具、機械類		
3	位置出しと遣方づくり	位置出しと遣方づくり		
4	植栽基盤の造成	植栽基盤の造成		
5	植栽工	配植、堀取り、植え付け、移植、芝生		
6	垣根と庭門	垣根と庭門		
7	石工事	石工事と敷砂		
8	園路広場整備工	園路・広場工事		
9	擁壁工	擁壁・階段と組積み工事		
10	添景物の施工法	添景物の施工法		
11	水景工	防水工法等		
12	土工事、コンクリート工事	丁張、排水処理等、造園工事とコンクリート		
13	舗装工	舗装の種類		
14	安全衛生	養生、清掃、安全衛生関係法令		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	施工計画	2 学年	前期
目的・目標 (指標)	三大管理を中心に、法規等も含めて、施工管理の基礎を学び、2 級造園施工管理技士の合格を目指す。			
実務家教員の実務経験	都市計画業務に携わっており、経験知識ともに豊富。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	施工管理について	三大管理の関連性		
2	工程管理	工程管理(工程計画)、ネットワーク式工程表		
3	品質管理	統計用語、ヒストグラム規格値		
4	関連法規	労働基準法		
5	労働安全衛生法	特別教育、就業制限、各作業の規則		
6	建設業	許可について、技術者について、都市公園法		
7	日本庭園、植栽工(1)	日本庭園、都市公園		
8	日本庭園、植栽工(2)	植栽工、移植工		
9	材料、植物管理(1)	公共緑化樹木		
10	材料、植物管理(2)	その他材料、植物管理		
11	公園施設、運動施設(1)	遊具、公園施設		
12	公園施設、運動施設(2)	運動施設		
13	土木(1)	土量計算		
14	土木(2)	舗装		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	都市環境論	2 学年	後期
目的・目標（指標）	都市の再開発が多くなるにつれて、環境のため特殊空間（屋上・壁面・屋内等）での現場が多くなってきている。特殊空間で仕事をする問題点を整理して、植物がしっかりと生育して、効果を十分に発揮できるようにする。また、特殊な空間での植栽を考える事により、1 年次の造園樹木学で学んだ樹木の基礎的な知識を再確認し、植物が育つということを、どんな現場でも基本に立ち戻って考えられるようにする。			
実務家教員の実務経験	大手造園会社に長年勤め、現在は[造園家]として様々な面で活躍している。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	落葉について(1)	季節について、落葉の問題についてグループ討論		
2	落葉について(2)	落葉の問題について発表、解説		
3	街路樹について	街路樹についてグループ討論、街路樹について発表、解説		
4	建築物緑化について	都市の緑について		
5	特殊空間緑化について	特殊空間緑化について考える、特殊空間緑化の必要性		
6	屋上緑化について(1)	屋上緑化(加重・排水)、水景工(水の扱い、デザイン)		
7	屋上緑化について(2)	水景工(循環、排水)、植栽基盤の作り方		
8	屋上緑化について(3)	施工上の注意事項、軽くする工夫、支柱の取り方		
9	室内緑化について(1)	室内緑化の問題についてグループ討論		
10	室内緑化について(2)	植物と日照りについて		
11	室内緑化について(3)	雨、におい対策について		
12	室内緑化について(4)	植物の成長について		
13	壁面緑化について	様々な工法と問題点、つる植物の特性と利用		
14	植物について	日本庭園、冬の装い、正月の演出について、植物について考える		
15	定期試験	定期試験		

造園専門 科目	講義	自然環境論	2 学年	前期
目的・目標（指標）	日本では土があれば草木は育ってくる。放っておけばそれが森にまでなる。それが日本の自然で、造園はそのような自然の中での仕事であり、この科目では日本の気候・風土を踏まえて自然との関わりを学ぶ。自然の姿は時と共に変化していく。それを人が安心して心地よく利用していけるようにするには、その状態毎に先人の知恵も必要になる。それらを基に、その場に応じて適切に縁とつき合っていけるようにする。			
実務家教員の実務経験	大手造園会社に長年勤め、現在は[造園家]として様々な面で活躍している。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業の流れ、日程説明		
2	街を歩いて、街中の自然の姿を見る	豊島 5 丁目団地～ハートアイランドを歩く		
3	アンケート、現代の造園の仕事	アンケート、現代の造園の仕事について		
4	日本の自然の姿(1)	遷移、変わる姿を変わない様に止めるには		
5	庭に花を持ち込む(1)	バラ園の作り方、「伝統」と「革新」		
6	見学(1)	晴海トリトンスクエア見学、リバーシティ 21、佃見学		
7	見学(2)	八国山緑地見学、松ヶ丘分譲地見学		
8	林を造園的に考える	「なじませる」ということ、林に自生する野草にも目を向ける		
9	自然に関わるキーワード(1)	循環型社会、生物多様性、共生		
10	自然に関わるキーワード(2)	外来種と郷土種		
11	自分の誕生日を色彩豊かに(1)	植物のリストアップ		
12	自分の誕生日を色彩豊かに(2)	植栽時における在来種検討ガイドライン、検討、作図		
13	自分の誕生日を色彩豊かに(3)	1 案、2 案、作図、着色		
14	レポート返却、講評	写真の画面構成、造園の空間構成、庭の構成、緑の扱い方		
15	定期試験	定期試験		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園専門 科目	講義	植物学概論	1 学年	後期
目的・目標（指標）	造園の仕事は樹木だけでなく草花などの知識も必要となってくる。 植物への理解が深まることで実習でも設計でも生かせるような知識を身に着ける。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	定期試験		定期試験	
後 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	草花とは		草花とはどんなものがあるのか	
2	花の管理		開花中の手入れ、花後の手入れ	
3	土と肥料		基本の用土と土壌改良について	
4	病害虫について		病気や害虫を知る	
5	植物リスト		一・二年草、宿根草、球根とは	
6	植物について(1)		一・二年草の種類	
7	植物について(2)		宿根草の種類	
8	植物について(3)		球根の種類	
9	植物について(4)		四季の花	
10	植物について(5)		グランドカバープランツ、芝	
11	植物について(6)		ハーブ類、カラーリーフ	
12	植物について(7)		実のなるもの	
13	植物について(8)		花の咲く樹木	
14	花の使い方		花壇、庭、コンテナ	
15	定期試験		定期試験	

造園専門 科目	講義	造園積算	2 学年	後期
目的・目標 (指標)		作業、工事の積算の方法を理解し、実際の施工に対し原価管理意識を持たせる。また、数量を計算し、施工にかかる必要経費を検討し、積算の基本を理解させる。		
実務家教員の実務経験		都市計画業務に携わっており、経験知識ともに豊富。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	積算の方法、積算(1)	積算とは、積算の方法		
2	積算(2)	数量計算、用紙の書き方		
3	積算(3)	施工管理の過去問、作業の積算、芝刈		
4	積算(4)	工事の積算、植栽、工事の積算 滑り台、数量計算、施工方法		
5	積算(5)	滑り台の積算		
6	積算(6)	工事の積算 ベンチ、数量計算、施工方法		
7	積算(7)	砂場の施工方法、積算		
8	積算(8)	工事の積算 擁壁、鉄筋、型枠の数量計算		
9	積算(9)	鉄筋、型枠の施工方法、積算		
10	積算(10)	工事の積算 ブロック積み、鉄筋、材料の数量計算		
11	積算(11)	ブロック積みの施工方法、積算		
12	積算(12)	フェンスの数量計算、フェンスの施工方法、積算		
13	積算(13)	工事の積算 舗装、数量計算、舗装の施工方法、積算		
14	試験対策	工事の積算、舗装、数量計算、施工方法		
15	定期試験	定期試験		

造園実習 科目	実習	造園技能実習	1 学年	前・後期
目的・目標（指標）		造園の仕事をする上で最低限必要な知識を身に付け、3 級造園技能検定において 100%以上の合格率を目指す。 造園作業において図面通りに正確に施工する技術の習得、2 級造園技能検定において 80%以上の合格率を目指す。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	造園技能検定とはどのような資格か、3 級ビデオ指導		
2	技能実習(1)	丸太、竹の切り方練習		
3	技能実習(2)	シュロ縄の結び方		
4	技能実習(3)	竹垣施工(1)		
5	技能実習(4)	竹垣施工(2)		
6	技能実習(6)	石施工(1)		
7	技能実習(8)	植栽工		
8	通し実習(1)	3 級実技課題(1)		
9	通し実習(2)	3 級実技課題(2)		
10	模擬試験(1)	3 級実技課題模擬試験(1)		
11	模擬試験(2)	3 級実技課題模擬試験(2)		
12	要素試験対策(1)	要素試験対策(1)		
13	要素試験対策(2)	要素試験対策(2)		
14	ガイダンス(1)	2 級造園技能検定に向けての説明(1)		
15	ガイダンス(2)	2 級造園技能検定に向けての説明(2)		
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	2 級ビデオ指導		
2	技能実習(1)	四ツ目垣の制作(1)		
3	技能実習(2)	四ツ目垣の制作(2)		
4	技能実習(3)	四ツ目垣の制作(3)		
5	技能実習(4)	四ツ目垣の制作(4)		
6	技能実習(5)	四ツ目垣の制作(5)		
7	技能実習(6)	石施工(1)		
8	技能実習(7)	石施工(2)		
9	技能実習(8)	石施工(3)		
10	技能実習(9)	石施工(4)		
11	技能実習(10)	植栽工(1)		
12	通し実習(1)	2 級実技課題練習		
13	通し実習(2)	2 級実技課題練習		
14	通し実習(3)	2 級実技課題練習		
15	模擬試験	2 級実技課題模擬試験		

造園実習 科目	実習	造園技能実習	2 学年	前期
目的・目標（指標）		造園作業において図面通りに正確に施工する技術の習得し、仕事の段取りの大切さを指導し理解させる。受験学生の8割以上が造園技能士2級に完全合格できるように指導する。		
実務家教員の実務経験		数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。		
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	竹垣練習	四つ目垣製作		
2	2 級造園技能検定要素試験対策	要素課題(1)		
3	石練習(1)	縁石、自然石、平板の敷設		
4	石練習(2)	縁石、自然石、平板の敷設		
5	石練習(3)	縁石、自然石、平板の敷設		
6	築山、植栽練習	築山、植栽、整地		
7	通し練習(1)	2 級実技課題練習		
8	通し練習(2)	2 級実技課題練習		
9	通し練習(3)	2 級実技課題練習		
10	通し練習(4)	2 級実技課題練習		
11	通し練習(5)	2 級実技課題練習		
12	通し練習(6)	2 級実技課題練習		
13	通し練習(7)	2 級実技課題練習		
14	模擬試験	模擬試験		
15	まとめ	実習場整備、道具の点検		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	実習	測量実習	1 学年	後期
目的・目標 (指標)	基準点測量から細部測量(平板測量)までの各種作業の概要に主眼をおき、測量の基礎、基準点測量から地図の調製までの概論を、実習や実技を通して修得することができる。また、測量全般について演習や実習を行い、特に造園の分野で必要とされる位置だし、高さだしおよび敷地の図面作成が実習や演習を通じてできるようになる。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	測量を学ぶにあたって	測量の区分、測量法による分類		
2	第 1 章距離測量	距離測量用器具、距離の測定、測距器機による距離測定		
3	第 2 章角測量(1)	角測量と測角器機、据え付けと視準、角度の観測		
4	第 2 章角測量(2)	観測手簿の記載、角度・距離の観測		
5	角度・距離の観測成果の取り纏め	新点の座標計算及び観測図の作成		
6	第 4 章細部測量(平板測量)	平板測量の器具、方法、平板を用いた細部測量、測量素図作成		
7	細部測量(平板測量)の実習実施	平板測量の観測		
8	平板測量の観測成果(製図)取り纏め	平板測量実習の取り纏め		
9	第 5 章水準測量	水準測量の方法、標尺の読み方、観測記簿の記載練習		
10	水準測量の実習実施	縦断測量・横断測量		
11	水準測量の観測成果取り纏め(1)	縦断・横断図の作成(1)		
12	水準測量の観測成果取り纏め(2)	縦断・横断図の作成(2)		
13	第 10 章路線測量	道路の計画		
14	第 7 章面積および体積	土量の計算、成果の取り纏め		
15	定期試験	定期試験		

造園実習 科目	実習	植栽管理実習	1 学年	後期
目的・目標（指標）	植物を直接取扱うことを中心として幅広く造園の維持管理について応用が出来るよう基本的な知識を身に付けさせ、造園で使用する植物への理解、樹木の剪定・整枝の基本を確実に身に付けさせる。今後増大する屋上・壁面・室内緑化の施工の基本及び管理の基本を覚えてもらう。			
実務家教員の実務経験	数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	常緑樹の剪定、道具の手入れ	常緑樹剪定方法、モミの剪定実習、清掃方法、ハサミ研ぎ実習		
2	植物の増殖方法について	挿木、接木、取木、播種の方法について		
3	土壌分析調査	土壌の成り立ちについて、校内の土壌採取、pH 検査実習		
4	植物観察素描	植物観察素描の目的について、ヘデラ、ヒバの素描実習		
5	花壇作成と管理	花壇の種類について、花壇デザイン作成、配植、植付けについて		
6	屋上緑化の基礎知識	屋上緑化の構造、施工方法、施工後の管理方法について		
7	落葉樹の剪定、針葉樹の剪定	落葉樹、針葉樹の剪定方法について		
8	ロープの結束	使用方法、ロープ結束実習、トラック積載時の結束法		
9	壁面緑化の基礎知識	壁面緑化の効果、蔓性植物の使用、維持管理の方法について		
10	樹木施肥	施肥の時期と方法について、校内の施肥実習		
11	海浜緑化の基礎知識	日本の海浜での重要性、海浜での緑化施工、維持管理について		
12	腐葉土作成	土壌改良・腐葉土の有効性・作り方について、腐葉土作成		
13	植物配植デザイン	植物配植、一点透視図について、三角形の活用による図面作成		
14	レポート課題について	レポート課題の解説		
15	植物のデザイン	植物の応用デザインの方法について		

造園実習 科目	実習	植栽管理実習	2 学年	前期
目的・目標 (指標)	植物への理解が深まることが、実際の施工管理の基本と考え、知識あって知恵足らずとならない人材の育成を目指す。			
実務家教員の実務経験	数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	植物の増殖方法	宿根草の株分けについて、株分け実習		
2	常緑樹の剪定(1)	常緑樹の剪定について		
3	常緑樹の剪定(2)	常緑樹の剪定実習		
4	常緑樹の剪定(3)	常緑樹の剪定実習		
5	剪定用具の手入れ	剪定用具の手入れについて、ハサミ研ぎ実習		
6	生垣の刈込み	刈込みについて、刈込み実習		
7	病害虫の防除(1)	病害虫について		
8	病害虫の防除(2)	病害虫採取		
9	植物の増殖方法(3)	挿木について		
10	植物の増殖方法(4)	挿木実習(ヘデラ、アジサイ)		
11	室内植物装飾(1)	室内装飾緑化について		
12	室内植物装飾(2)	室内装飾緑化実習		
13	レポート解説(1)	常緑樹の剪定レポートの解説		
14	レポート解説(2)	屋上緑化の基礎知識		
15	授業のまとめ	全授業の解説		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	実習	造園実習	1 学年	後期
目的・目標（指標）		造園技術の基本実技の習得を目的とする。 整地作業や根巻き、植栽作業等の経験を踏まえ、それぞれの作業ポイントを習得する。		
実務家教員の実務経験		数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。		
指 導 内 容				
前 期				
週		教程	教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週		教程	教程内容	
1		根巻き	移植のポイント、根について、根巻き練習(ミカン巻き)	
2		移植、水極め	移植について、水極めのポイント、掘り取り、穴掘り、水極め	
3		二脚鳥居支柱(1)	鳥居支柱の組立て、鳥居支柱番線の結束について	
4		二脚鳥居支柱(2)	番線結束練習	
5		二脚鳥居支柱(3)	鳥居支柱施工実習(1)支柱据付、番線結束、シュロ縄結束	
6		二脚鳥居支柱(4)	鳥居支柱施工実習(2)支柱据付、番線結束、シュロ縄結束	
7		ホームセンター見学	道具の説明、道具の選び方	
8		整地	整地作業の説明、整地作業実習	
9		舗装設計	舗装の設計	
10		舗装作業(1)	型枠準備	
11		舗装作業(2)	レンガ施工(1)	
12		舗装作業(3)	レンガ施工(2)	
13		舗装作業(4)	レンガ施工(3)	
14		片付け、清掃	道具の片付け、清掃	
15		レポート作成	実習についてのレポート作成	

造園実習 科目	実習	造園実習	2 学年	後期
目的・目標（指標）		造園に必要な基礎知識を講義だけでなく実習で経験することにより、造園に必要な仕事を理解できるようになる。		
実務家教員の実務経験		数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	剪定(1)	校内での剪定		
2	剪定(2)	校内での剪定		
3	剪定(3)	校内での剪定		
4	剪定(4)	校内での剪定		
5	校外実習(1)	個人邸竹垣制作		
6	校外実習(2)	個人邸竹垣制作		
7	校外実習(3)	個人邸竹垣制作		
8	校外実習(4)	個人邸竹垣制作		
9	剪定(5)	校内での剪定		
10	剪定(6)	校内での剪定		
11	剪定(7)	校内での剪定		
12	剪定(8)	校内での剪定		
13	剪定(9)	校内での剪定		
14	片付け、清掃	道具の片付け、清掃		
15	レポート作成	実習についてのレポート作成		

造園実習 科目	演習	造園パース演習	1 学年	前期
目的・目標（指標）	学生にプレゼンテーションの概念として透視図法(パース)及び、模型作りがあることを認識させ、それを各自が今後の授業及び卒業制作にどう反映させていくかを目的とする。一消点と二消点といった透視図の基本を各自が理解する。その実践の土台として、トレースの訓練課題を設け、パースの感覚を養う。及び樹木の樹形の違いを意識した、樹木の描き方をマスターする。			
実務家教員の実務経験	造園業を中心に、デザインに関する知識が深く、設計を行っている。			
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業の進め方、パースについて、線の練習		
2	色彩演習	色見本、色相環、明度、彩度		
3	陰影演習	立方体、円柱、球		
4	色鉛筆演習(プルーン)	トレース、着色		
5	ファニチャースケッチ演習	ベンチ、一消点、二消点の基礎		
6	ケント紙の模型演習(1)	展開図下図、展開図制作、カッティング、のり付け		
7	門柱トレース(1)	二消点のトレース、下図作成、墨入れ		
8	門柱トレース(2)	一消点のトレース、下図作成、墨入れ、影入れ		
9	植栽演習(1)	下書き(常緑樹、落葉樹)、墨入れ		
10	植栽演習(2)	下書き(針葉樹)、墨入れ		
11	花壇パース(1)	グリット作成、下図、墨入れ		
12	花壇パース(2)	グリット作成、下図、墨入れ		
13	夏休み課題補講	中庭トレース課題の確認、追加作業、ガーデニングショー課題		
14	庭の模型	土台、マウント、樹木作製、蹲踞、四つ目垣制作、全体配置		
15	課題の講評	課題の講評		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	演習	造園パース演習	2 学年	前期
目的・目標 (指標)		造園パースの技術と着色等の技術を習得し、パースの描き方に偏らず、樹木の表現や着色ができるようになる。		
指 導 内 容				
前 期 (3 時限)				
週	教程		教程内容	
1	作図		大規模公園のプランの作図	
2	着色(1)		着色(1)	
3	着色(2)		着色(2)	
4	透視図(1)		一点透視図法の基本(1)	
5	透視図(2)		一点透視図法の基本(2)	
6	透視図(3)		一点透視図法の応用(1)	
7	透視図(4)		一点透視図法の応用(2)	
8	透視図(5)		二点透視図法の基本(1)	
9	透視図(6)		二点透視図法の基本(2)	
10	透視図(7)		二点透視図法の応用(1)	
11	透視図(8)		二点透視図法の応用(2)	
12	透視図(9)		一点透視図法による住宅庭園の表現(1)	
13	透視図(10)		一点透視図法による住宅庭園の表現(2)	
14	透視図(11)		二点透視図法による住宅庭園の表現(1)	
15	透視図(12)		二点透視図法による住宅庭園の表現(2)	
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	演習	造園製図演習	1 学年	前期
目的・目標（指標）	図面を描いたことのない学生を対象に製図の基礎を学ばせ、基本設計レベルの平面図が描けるよう指導する。			
実務家教員の実務経験	造園業を中心に、デザインに関する知識が深く、設計を行っている。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	道具の使い方	授業について、道具の使い方		
2	線の引き方	線の引き方、トレース練習		
3	三角スケールの使い方、トレース	三角スケールの使い方、トレース練習		
4	アプローチの設計(1)-①	アプローチの考え方、動線を考える		
5	アプローチの設計(1)-②	設計(下書き)		
6	アプローチの設計(1)-③	設計		
7	アプローチの設計(2)-①	設計(動線、下書き)		
8	アプローチの設計(2)-②	設計(下書き)		
9	アプローチの設計(2)-③	設計		
10	アプローチの設計(2)-④	数量表の書き方		
11	個人邸設計(1)-①	条件の説明、ゾーニング説明、コンセプト		
12	個人邸設計(1)-②	設計(下書き)、設計、数量表		
13	個人邸設計(2)-①	条件の説明、ゾーニング説明、コンセプト		
14	個人邸設計(2)-②	設計(下書き)、設計、数量表		
15	個人邸設計(2)-③	設計(下書き)、設計、数量表		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	演習	植栽設計演習	1 学年	後期
目的・目標（指標）	造園の中で重要な役割を持つ植栽について、演出、機能、プロセスを理解する。造園設計希望者は基本設計から植栽設計の基本を経験し身につける。造園施工希望者は図面意図を読み取る、施工図作成への基本となる要素を身につける。コンセプトに沿った空間づくりから植栽計画までの流れを身に着け、「意味のある植栽」ができるようにする。様々な用途の空間とスケールの植栽設計を行い、経験値を上げる。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程		教程内容	
1	ガイダンス		授業の進め方、植栽設計の概要	
2	小空間演習、数量表作成方法		植栽設計の考え方、数量算出の仕方	
3	設計演習(1)		小規模ビル計画(1)	
4	設計演習(2)		小規模ビル計画(2)	
5	設計演習(3)		街角広場計画(1)	
6	設計演習(4)		街角広場計画(2)	
7	設計演習(5)		戸建て住宅計画(1)	
8	設計演習(6)		戸建て住宅計画(2)	
9	設計演習(7)		カフェテラス計画(1)	
10	設計演習(8)		カフェテラス計画(2)	
11	見学会(2)		ビル周りと公園の植栽空間の見学	
12	設計演習(9)		集合住宅計画(1)	
13	設計演習(10)		集合住宅計画(2)	
14	設計演習(12)		屋上庭園の植栽計画(1)	
15	設計演習(13)		屋上庭園の植栽計画(2)	

造園実習 科目	演習	造園 CAD 演習	1 学年	後期
目的・目標 (指標)		株式会社グレバートジャパン社製の CAD ソフトウェア「ARES」(AutoCAD 互換)を使用し CAD 製図の基礎を学ぶ。図面の正確な読み取りと記述技法の習得を目指す。生徒自らが計画・設計した図面の CAD 化が出来るようになると共に、正確な情報の提供、施主との適切な意思疎通を行うツールとしての考え方を得る。		
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス、CAD ソフトウェアインストール	CAD ソフトウェアインストール		
2	はじめに、基礎知識	CAD について、図面の要素、CAD ソフトウェアの起動		
3	コマンドの利用(1)	クリック動作、バックアップ設定、描画系コマンドの使い方		
4	コマンドの利用(2)	編集系コマンドの使い方、注釈系コマンドの使い方		
5	図面作成「線と円の応用」(1)	線を引く、スナップとは、線分とポリライン、オフセット		
6	図面作成「線と円の応用」(2)	等間隔に配置する、延長止線・面取り		
7	図面作成「線と円の応用」(3)	フィレット、線種設定、注釈、印刷設定、印刷と点検		
8	植栽データの作成(1)	データ配布、作業注意点の説明		
9	植栽データの作成(2)	ラスタの配置・パス指定、ラスタトレース		
10	植栽データの作成(3)	印刷と点検、ブロック化		
11	A 計画 CAD 化(1)	必要資料配布、ブロックの読み込み、CAD 線形描画		
12	A 計画 CAD 化(2)	ハッチング要素の処理、画層整理・印刷と点検		
13	B 計画 CAD 化(1)	必要資料配布、前回提出物評価の発表、CAD 描画		
14	B 計画 CAD 化(2)	オブジェクトの挿入、画層処理・印刷と点検		
15	定期試験	定期試験		

造園実習 科目	演習	造園設計演習	1 学年	後期
目的・目標（指標）	現地調査から設計のみならず施工までの一連の流れを体験し理解させる。 学生自ら設計したものを自分たちで施工する。これにより設計上の収まりを確認する。			
実務家教員の実務経験	造園業を中心に、デザインに関する知識が深く、設計を行っている。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	ガイダンス、自己紹介、約束事の確認		
2	基本的考え方の説明	ゾーニングについて、氣勢について、ゾーニング、機能図の実習		
3	学校改修の説明、現地調査	現地調査		
4	学校改修計画(1)	設計作業(1)		
5	学校改修計画(2)	設計作業(2)		
6	学校改修計画プレゼン	プレゼン		
7	設計修正(1)	平面図修正、立面図、イメージ写真添付作業(1)		
8	剪定作業(1)	校内剪定作業(1)		
9	下草、除草作業(1)	植栽のメンテナンス(1)		
10	下草、除草作業(2)	植栽のメンテナンス(2)		
11	個人邸計画(1)	施主説明、コンセプト計画、構造物の部分計画		
12	個人邸計画(2)	現地調査、設計計画(1)		
13	個人邸計画(3)	設計計画(2)		
14	個人邸計画(4)	プレゼン		
15	個人邸計画(5)	図面手直し		

造園実習 科目	演習	造園設計演習	2 学年	前期
目的・目標（指標）	個人邸設計を行う為の基本的な知識・手法を習得することを目的とする。 設計したもののプレゼンテーションとしての表現技術の向上と、設計のポイントを論理的に説明できる技術を習得する。			
実務家教員の実務経験	造園業を中心に、デザインに関する知識が深く、設計を行っている。			
指 導 内 容				
前 期（3 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	授業規定の確認、庭について		
2	図面課題(1)	ファザードについて、前庭設計		
3	図面課題(2)	前庭設計		
4	図面課題(3)	アプローチ設計		
5	図面課題(4)	条件整理		
6	図面課題(5)	個人邸設計		
7	図面課題(6)	個人邸設計プレゼン		
8	設計について	「設計する」ということ		
9	校内設計課題(1)	校内設計		
10	校内設計課題(2)	校内設計		
11	校内設計課題(3)	校内設計		
12	校内設計課題(4)	校内設計		
13	校内設計課題(5)	校内設計のプレゼン		
14	校内設計課題(6)	校内設計の修正		
15	校内設計課題(7)	校内設計の修正		
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

造園実習 科目	演習	環境デザイン演習	2 学年	後期
目的・目標 (指標)	庭にしか目が向かずに見過ごしてしまっている場にも目を向けられるようにし、都市環境論とも連携し、様々な立場の人にも配慮した考えができるようにする。「景観的にどうか」という広い視野と「細部の収まりはこれでいいか」という細かい視点。両方を兼ね備えることが必要な造園の物の見方を実践できるようにし、その上に自分の思いを表現できるようにする。			
実務家教員の実務経験	大手造園会社に長年勤め、現在は[造園家]として様々な面で活躍している。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教 程		教 程 内 容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期 (3 時限)				
週	教 程		教 程 内 容	
1	見学(1)		「東京ガーデンテラス紀尾井町」見学	
2	景観的によくするには		「東京ガーデンテラス紀尾井町」検討・作図	
3	細かい配慮、施工的に良くないところの修正		季節の話題、「東京ガーデンテラス」作図	
4	見学(2)		「ガーデンシティ品川御殿山」、「品川インターシティ」見学	
5	見学(3)		「虎の門ヒルズ」、「汐留」見学	
6	植栽改修案検討(1)		「品川インターシティ」植栽改修案検討・作図(1)	
7	植栽改修案検討(2)		「品川インターシティ」植栽改修案検討・作図(2)	
8	歩道プラン検討(1)		「虎ノ門ヒルズ」歩道プラン検討・作図(1)	
9	歩道プラン検討(2)		「虎ノ門ヒルズ」歩道プラン検討・作図(2)	
10	土工事(1)		現場確認、完成形の想像	
11	土工事(2)		「三平板」作図	
12	見学(4)		「江戸東京たてももの園」見学	
13	見学(5)		「迎賓館」見学	
14	見学(6)		都内の庭園見学	
15	レポート解説		レポート解説	

造園実習 科目	実習	卒業制作	2 学年	後期
目的・目標（指標）	『デザイナー&ビルダー』の育成を目指している造園デザイン科として、卒業作品はコンセプトメイキングをしっかりとした上での設計を課題としている。「設計主旨図」「設計図面」「パース」のプレゼンテーション図面、「立断面図」「植栽図・施設図」及び「設計数量表」の実施図面、などの成果品を作成する事により、深く学習・研究し、造園設計及び技術者としてのノウハウの習得を目標とする。			
実務家教員の実務経験	造園業を中心に、デザインに関する知識が深く、設計を行っている。			
指 導 内 容				
前 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期（9 時限）				
週	教程	教程内容		
1	ガイダンス	卒業制作課題説明		
2	個別指導(1)	事例調査、コンセプトの概要計画		
3	中間審査(1)	中間審査(1)		
4	個別指導(2)	ゾーニング計画、機能計画		
5	個別指導(3)	ラフスケッチによる空間の提案		
6	中間審査(2)	中間審査(2)		
7	個別指導(4)	基本平面図の作成(1)		
8	個別指導(5)	基本平面図の作成(2)		
9	個別指導(6)	鳥瞰図・透視図の作成(1)		
10	個別指導(7)	鳥瞰図・透視図の作成(2)		
11	個別指導(8)	その他の図面の作成(1)		
12	個別指導(9)	その他の図面の作成(2)		
13	個別指導(10)	着彩(1)		
14	個別指導(11)	着彩(2)		
15	最終点検	最終点検		

特別実習	実技	実務研修	2 学年	前期
目的・目標（指標）		<p>目 的：実社会において建設関係の実務について体験・研修し、併せて学校においては学ぶことのできない社会の規律・規則等を体得する。</p> <p>後期目標：第 2 学年の夏季休暇中に全員履修を原則に実務研修を修了できるようにする。</p>		
指 導 内 容				
前 期（40 時限）				
週	教程		教程内容	
1	実務研修 5 日間			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期				
週	教程		教程内容	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

特別実習	実習	造園施工実習 I	1 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目 的：これまで学んできた造園の基礎知識を応用的に活用するため、実務に特化した実習を行い、就職に役立てる。</p> <p>後期目標：竹垣の作製や石積みなどの造園技術を習得し、今後の授業や就職後に活用できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。</p>			
指 導 内 容				
前 期 (81 時限)				
週	教程	教程内容		
1	造園実習 9 日間	軽井沢研修所内の施工 (竹垣・石積み・剪定)		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

特別実習	実習	造園施工実習Ⅱ	2 学年	前期
目的・目標 (指標)	<p>目 的：これまで学んできた造園の基礎知識を応用的に活用するため、実務に特化した実習を行い、就職に役立てる。</p> <p>後期目標：竹垣の作製や石積みなどの造園技術を習得し、今後の授業や就職後に活用できるようになる。</p>			
実務家教員の実務経験	<p>数年間造園会社で修業を積み、現在は独立して個人事務所を設立。個人宅の設計施工業務を中心に活躍している。</p>			
指 導 内 容				
前 期 (81 時限)				
週	教程	教程内容		
1	造園実習 9 日間	軽井沢研修所内の施工 (竹垣・石積み・剪定)		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
後 期				
週	教程	教程内容		
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				